

# 1 概 況

## (1) 規模 5 人以上の事業所

### 賃 金

調査産業計の 1 人平均月間現金給与総額（以下「現金給与総額」という）は前年比 1.5% 増の 320,102 円であった。

また、現金給与総額の内訳をみると、きまって支給する給与は、前年比 1.6% 増の 264,475 円であり、特別に支払われた給与は 55,627 円で、前年に比べ 411 円増加した。

### 労働時間

調査産業計の 1 人平均月間総実労働時間（以下「総実労働時間」という。）は、前年比 0.8% 増の 145.1 時間であった。

また、総実労働時間の内訳をみると、所定内労働時間は前年比 0.4% 増の 135.3 時間であり、所定外労働時間は前年比 7.4% 増の 9.8 時間であった。

### 出勤日数

調査産業計の 1 人平均月間出勤日数（以下「出勤日数」という。）は 19.1 日で、前年に比べ 0.1 日増となった。

### 雇 用

調査産業計の月平均推計常用労働者（以下「常用労働者」という）数は、前年比 1.8% 増の 1,577,777 人であった。

図 1 主要指標指数の動き（規模 5 人以上の事業所）

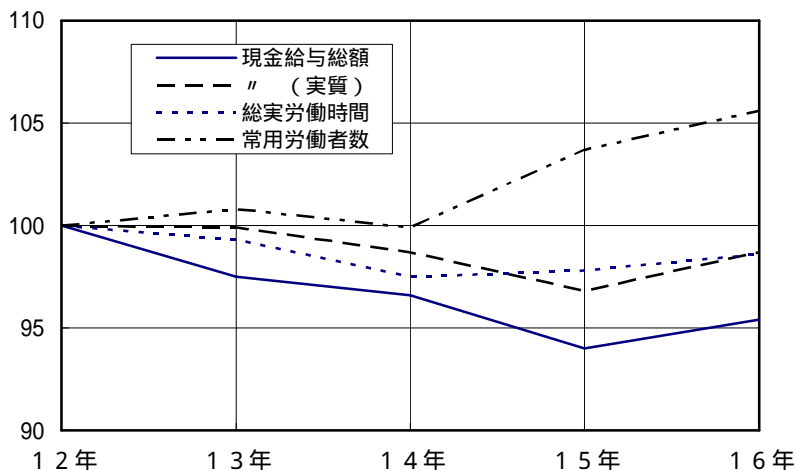
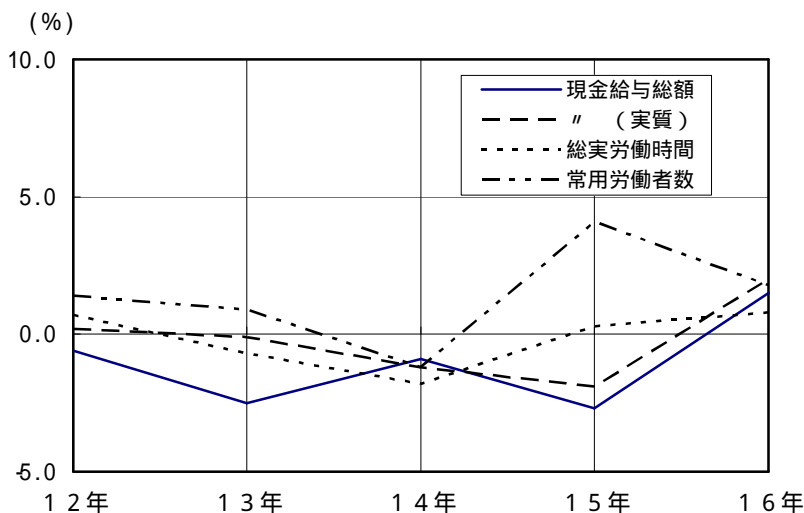


図 2 主要指標の前年比の推移（規模 5 人以上の事業所）



(2) 規模30人以上の事業所

賃金

調査産業計の現金給与総額は前年比0.1%減の360,288円であった。

また、現金給与総額の内訳をみると、きまって支給する給与は289,292円で前年比0.4%減であり、特別に支払われた給与は70,996円で、前年に比べ55円増加した。

労働時間

調査産業計の総実労働時間は、前年比0.7%減の146.3時間であった。

また、総実労働時間の内訳をみると、所定内労働時間は前年比1.0%減の135.3時間であり、所定外労働時間は前年比0.6%増の11.0時間であった。

出勤日数

調査産業計の出勤日数は19.1日で、前年と同じであった。

雇用

調査産業計の常用労働数は前年比2.8%増952,724人であった。

図3 主要指標指数の動き（規模30人以上の事業所）

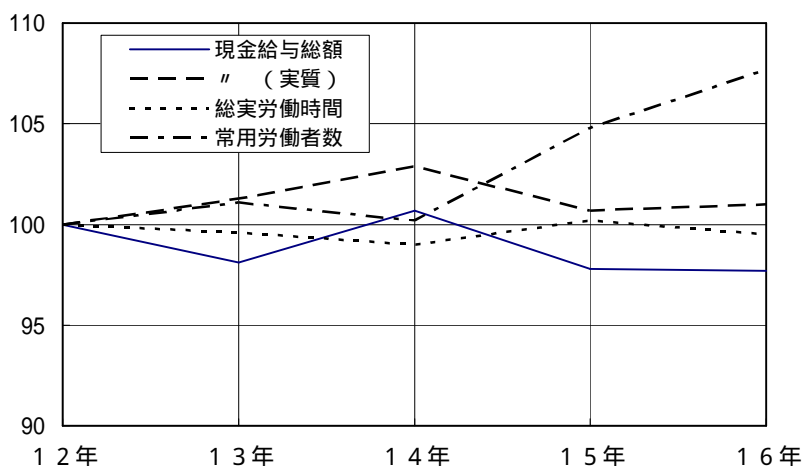
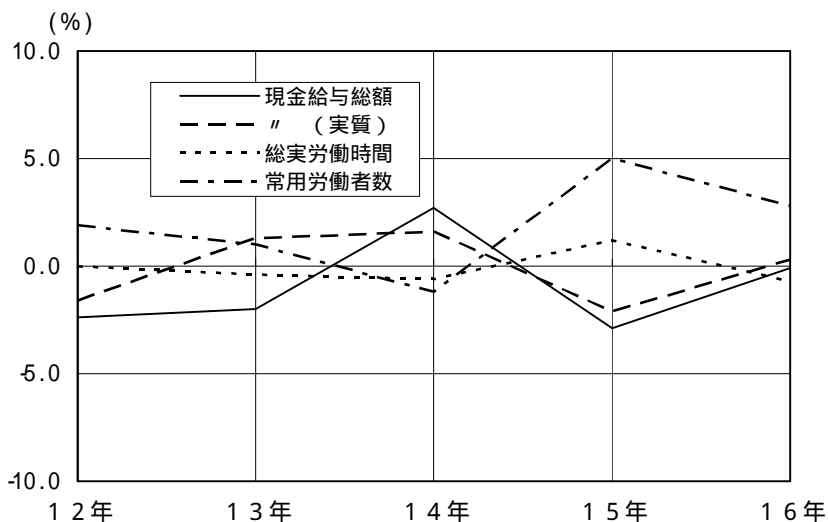


図4 主要指標の前年比の推移（規模30人以上の事業所）



## 2 賃金の動き

### (1) 規模5人以上の事業所

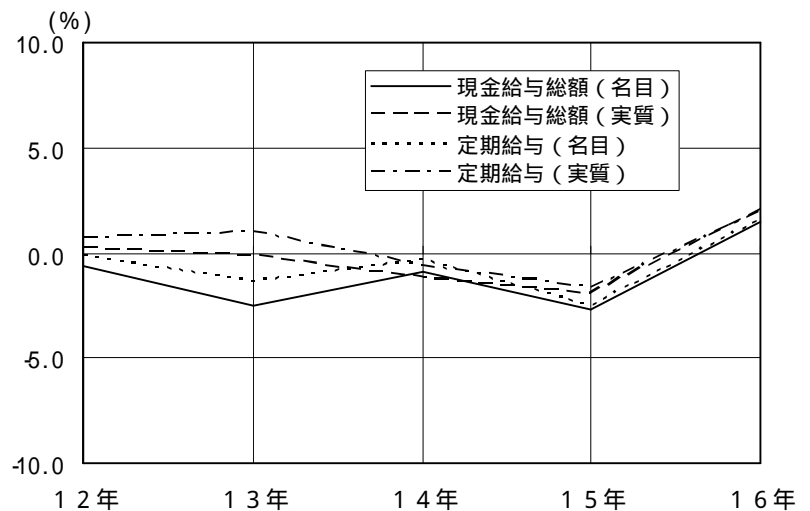
平成16年における調査産業計の現金給与総額は前年比1.5%増の320,102円であった。

産業別に対前年比をみると、減少したのは、電気・ガス・熱供給・水道業が7.9%と最も大きく、次いで不動産業が3.1%であった。

一方、増加したのは、建設業が14.4%と最も大きかった。

(表1)

図5 賃金指数の前年比の推移（規模5人以上の事業所）



また、調査産業計の実質賃金指数をみると、現金給与総額は前年に比べ2.0%増、きまって支給する給与は1.9%増となった。（表3）

表1 産業別賃金の状況（規模5人以上の事業所）

| 区 分           | 現金給与総額  |            | 定期給与    |            | 特別給与    |         |
|---------------|---------|------------|---------|------------|---------|---------|
|               | 金 額     | 対前年<br>増減率 | 金 額     | 対前年<br>増減率 | 金 額     | 対前年差    |
|               | 円       | %          | 円       | %          | 円       | 円       |
| 調査産業計         | 320,102 | 1.5        | 264,475 | 1.6        | 55,627  | 411     |
| 建設業           | 380,093 | 14.4       | 336,918 | 9.1        | 43,175  | 21,707  |
| 製造業           | 389,036 | 4.6        | 316,344 | 4.1        | 72,692  | 5,497   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 529,557 | -7.9       | 398,240 | -8.9       | 131,317 | -15,268 |
| 運輸・通信業        | 368,215 | -1.9       | 304,621 | -5.0       | 63,594  | 10,564  |
| 卸売・小売業, 飲食店   | 188,318 | 2.5        | 165,412 | 5.1        | 22,906  | -6,644  |
| 金融・保険業        | 447,294 | 6.8        | 345,567 | 9.0        | 101,727 | -3,971  |
| 不動産業          | 334,519 | -3.1       | 280,387 | -1.1       | 54,132  | -23,633 |
| サービス業         | 347,925 | -1.9       | 281,398 | -1.2       | 66,527  | -752    |

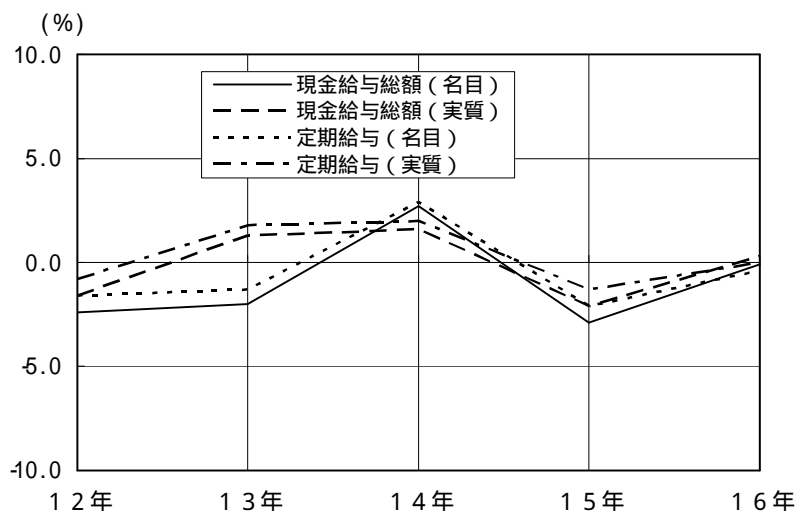
(2) 規模30人以上の事業所

平成16年における調査産業計の現金給与総額は、前年比-0.1%減の360,288円であった。産業別に対前年比をみると、減少したのは不動産業が17.6%と最も大きく、次いでサービス業が4.8%、電気・ガス・熱供給・水道業が4.7%であった。

一方、増加したのは建設業が8.4%と最も大きかった。

(表2)

図6 賃金指数の前年比の推移(規模30人以上の事業所)



また、調査産業計の実質賃金指数をみると、現金給与総額は前年に比べ0.3%増、きまって支給する給与は前年と同水準となった。(表3)

表2 産業別賃金の状況(規模30人以上の事業所)

| 区 分           | 現金給与総額  |            | 定期給与    |            | 特別給与    |         |
|---------------|---------|------------|---------|------------|---------|---------|
|               | 金 額     | 対前年<br>増減率 | 金 額     | 対前年<br>増減率 | 金 額     | 対前年差    |
|               | 円       | %          | 円       | %          | 円       | 円       |
| 調査産業計         | 360,288 | -0.1       | 289,292 | -0.4       | 70,996  | 55      |
| 建設業           | 500,604 | 8.4        | 405,824 | -0.8       | 94,780  | 57,094  |
| 製造業           | 418,327 | 3.0        | 332,610 | 3.3        | 85,717  | 1,595   |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 581,254 | -4.7       | 430,168 | -6.1       | 151,086 | -8,480  |
| 運輸・通信業        | 386,591 | 2.0        | 314,302 | -4.7       | 72,289  | 25,112  |
| 卸売・小売業, 飲食店   | 190,156 | 2.3        | 161,365 | 3.8        | 28,791  | -10,630 |
| 金融・保険業        | 470,412 | 3.8        | 361,808 | 6.8        | 108,604 | -12,483 |
| 不動産業          | 289,705 | -17.6      | 233,728 | -15.1      | 55,977  | -78,644 |
| サービス業         | 385,043 | -4.8       | 306,733 | -3.5       | 78,310  | -4,788  |

表3 調査産業計における賃金の状況

| 区 分     | 現金給与総額 |         |            |      |            |      | 定期給与    |            |      |            |      |
|---------|--------|---------|------------|------|------------|------|---------|------------|------|------------|------|
|         | 名 目    |         |            | 実 質  |            |      | 名 目     |            |      | 実 質        |      |
|         | 金 額    | 指 数     | 対前年<br>増減率 | 指 数  | 対前年<br>増減率 | 金 額  | 指 数     | 対前年<br>増減率 | 指 数  | 対前年<br>増減率 |      |
|         | 円      |         | %          |      | %          | 円    |         | %          |      | %          |      |
|         | 12年    | 342,714 | 100.0      | -0.6 | 100.0      | 0.2  | 277,769 | 100.0      | -0.1 | 100.0      | 0.7  |
|         | 13年    | 339,569 | 97.5       | -2.5 | 99.9       | -0.1 | 278,175 | 98.6       | -1.4 | 101.0      | 1.0  |
| 規模5人以上  | 14年    | 325,050 | 96.6       | -0.9 | 98.7       | -1.2 | 267,162 | 98.3       | -0.3 | 100.4      | -0.6 |
|         | 15年    | 318,512 | 94.0       | -2.7 | 96.8       | -1.9 | 263,295 | 95.8       | -2.5 | 98.7       | -1.7 |
|         | 16年    | 320,102 | 95.4       | 1.5  | 98.7       | 2.0  | 264,475 | 97.3       | 1.6  | 100.6      | 1.9  |
|         | 12年    | 381,413 | 100.0      | -2.4 | 100.0      | -1.6 | 302,106 | 100.0      | -1.6 | 100.0      | -0.8 |
|         | 13年    | 382,988 | 98.1       | -2.0 | 101.3      | 1.3  | 305,246 | 98.7       | -1.3 | 101.8      | 1.8  |
| 規模30人以上 | 14年    | 372,525 | 100.7      | 2.7  | 102.9      | 1.6  | 296,870 | 101.6      | 2.9  | 103.8      | 2.0  |
|         | 15年    | 365,561 | 97.8       | -2.9 | 100.7      | -2.1 | 294,620 | 99.5       | -2.1 | 102.5      | -1.3 |
|         | 16年    | 360,288 | 97.7       | -0.1 | 101.0      | 0.3  | 289,292 | 99.1       | -0.4 | 102.5      | 0.0  |

(3) 事業所規模別賃金

調査産業計で現金給与総額を事業所規模別にみると、5～29人規模が258,831円、30～99人規模が329,262円、100人以上規模が386,570円となった。

また、きまって支給する給与は、5～29人規模が226,637円、30～99人規模が264,519円、100人以上規模が310,277円となった。（表4）

表4 事業所規模別賃金の推移

| 区 分 | 現金給与総額  |         |         | 定期給与    |         |         |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|     | 5～29人   | 30～99人  | 100人～   | 5～29人   | 30～99人  | 100人～   |
|     | 円       | 円       | 円       | 円       | 円       | 円       |
| 12年 | 288,813 | 324,091 | 432,626 | 243,873 | 266,192 | 334,192 |
| 13年 | 280,243 | 324,798 | 434,010 | 241,187 | 268,478 | 337,485 |
| 14年 | 260,791 | 338,380 | 403,471 | 226,952 | 274,284 | 317,340 |
| 15年 | 255,993 | 321,087 | 405,511 | 221,729 | 266,514 | 319,888 |
| 16年 | 258,831 | 329,262 | 386,570 | 226,637 | 264,519 | 310,277 |

### 3 労働時間

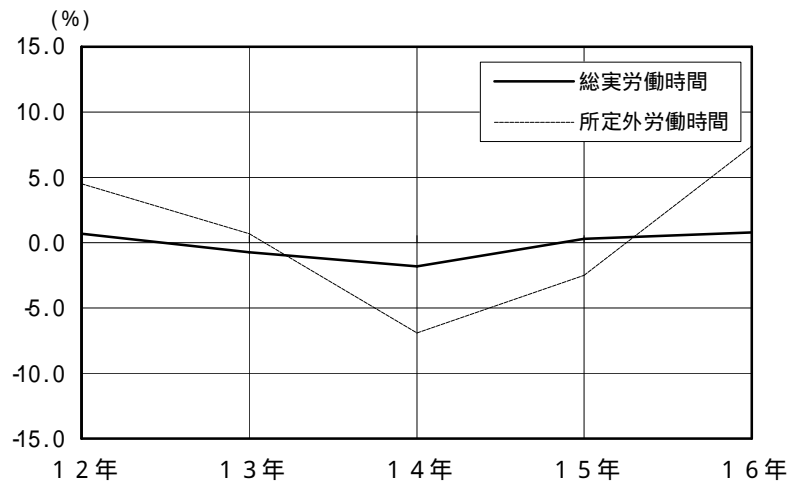
#### (1) 規模5人以上の事業所

平成16年における調査産業計の総実労働時間は、前年比0.8%増の145.1時間であった。これを産業別にみると、建設業が173.0時間でもっとも多く、次いで製造業の165.8時間、運輸・通信業の159.1時間の順で続いている。

総実労働時間の内訳をみると、所定内労働時間は前年比0.4%増の135.3時間であった。また、所定外労働時間は前年比7.4%増の9.8時間であった。

産業別に所定外労働時間の対前年比をみると、増加したのは卸売・小売業、飲食店で48.9%と最も大きく、減少したのは運輸・通信業で12.5%と最も大きかった。

図7 労働時間の前年比の推移（規模5人以上の事業所）



(表5)

表5 産業別労働時間の状況（規模5人以上の事業所）

| 区 分           | 総実労働時間 |        | 所定内労働時間 |        | 所定外労働時間 |        | 出勤日数 |      |
|---------------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|------|------|
|               | 時間数    | 対前年増減率 | 時間数     | 対前年増減率 | 時間数     | 対前年増減率 | 日数   | 対前年差 |
| 調査産業計         | 時間     | %      | 時間      | %      | 時間      | %      | 日    | 日    |
| 調査産業計         | 145.1  | 0.8    | 135.3   | 0.4    | 9.8     | 7.4    | 19.1 | 0.1  |
| 建設業           | 173.0  | 1.3    | 160.8   | -0.8   | 12.2    | 42.8   | 21.1 | 0.1  |
| 製造業           | 165.8  | 2.0    | 149.7   | 0.6    | 16.1    | 15.7   | 19.9 | 0.3  |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 152.0  | -0.5   | 141.7   | -0.6   | 10.3    | -0.3   | 18.3 | -0.1 |
| 運輸・通信業        | 159.1  | -4.8   | 143.9   | -3.9   | 15.2    | -12.5  | 20.1 | 0.2  |
| 卸売・小売業、飲食店    | 125.3  | 6.3    | 118.7   | 4.6    | 6.6     | 48.9   | 18.4 | 0.0  |
| 金融・保険業        | 139.9  | 3.1    | 131.2   | 3.2    | 8.7     | -0.1   | 18.4 | -0.1 |
| 不動産業          | 158.2  | -1.2   | 148.7   | -1.8   | 9.5     | 5.4    | 20.2 | -0.7 |
| サービス業         | 142.0  | -0.6   | 134.4   | -0.4   | 7.6     | -4.4   | 18.6 | 0.0  |

(2) 規模30人以上の事業所

平成16年における調査産業計の総実労働時間は、前年比0.7%減の146.3時間であった。これを産業別にみると、建設業が169.0時間で最も多く、次いで製造業が167.5時間、電気・ガス・熱供給業が158.2時間の順で続いている。

総実労働時間の内訳をみると、所定内労働時間は前年比1.0%減の135.3時間であった。また、所定外労働時間は前年比0.6%増の11.0時間であった。産業別に所定外労働時間の対前年比をみると、増加したのは卸売・小売業、飲食店で25.0%と最も大きく、次いで製造業が14.9%であった。

減少したのは不動産業で15.3%と最も多く、次いで運輸・通信業が13.5%と続いた。

(表6)

図8 労働時間の前年比の推移(規模30人以上の事業所)

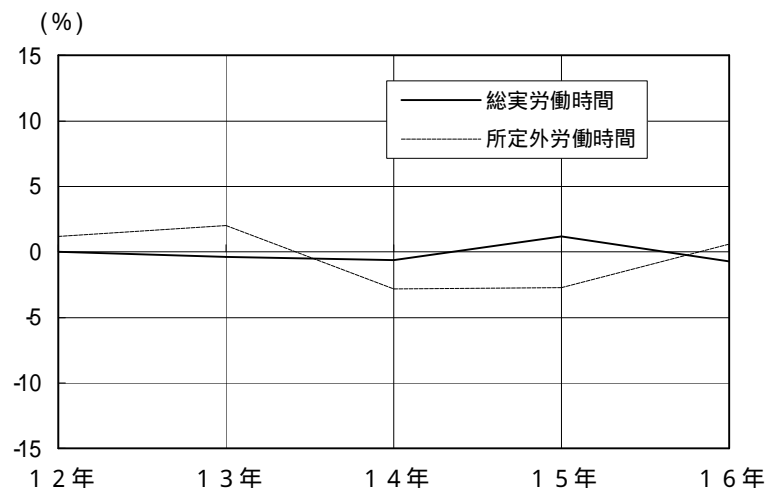


表6 産業別労働時間の状況(規模30人以上の事業所)

| 区 分           | 総実労働時間 |        | 所定内労働時間 |        | 所定外労働時間 |        | 出勤日数 |      |
|---------------|--------|--------|---------|--------|---------|--------|------|------|
|               | 時間数    | 対前年増減率 | 時間数     | 対前年増減率 | 時間数     | 対前年増減率 | 日数   | 対前年差 |
| 調査産業計         | 146.3  | -0.7   | 135.3   | -1.0   | 11.0    | 0.6    | 19.1 | 0.0  |
| 建設業           | 169.0  | -6.2   | 151.0   | -7.9   | 18.0    | 14.0   | 20.3 | -0.2 |
| 製造業           | 167.5  | 1.9    | 149.8   | 0.5    | 17.7    | 14.9   | 19.8 | 0.4  |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 158.2  | 1.1    | 146.2   | 0.7    | 12.0    | 4.3    | 18.8 | 0.3  |
| 運輸・通信業        | 154.4  | -6.3   | 139.6   | -5.3   | 14.8    | -13.5  | 19.9 | 0.1  |
| 卸売・小売業, 飲食店   | 121.1  | 2.2    | 114.6   | 1.1    | 6.5     | 25.0   | 18.7 | -0.5 |
| 金融・保険業        | 138.8  | 5.5    | 129.7   | 5.7    | 9.1     | 2.6    | 18.2 | -0.3 |
| 不動産業          | 137.8  | -4.8   | 127.1   | -3.9   | 10.7    | -15.3  | 18.6 | -1.2 |
| サービス業         | 144.2  | -1.3   | 136.0   | -0.6   | 8.2     | -10.4  | 18.8 | -0.2 |

## 4 出勤日数

### (1) 規模5人以上の事業所

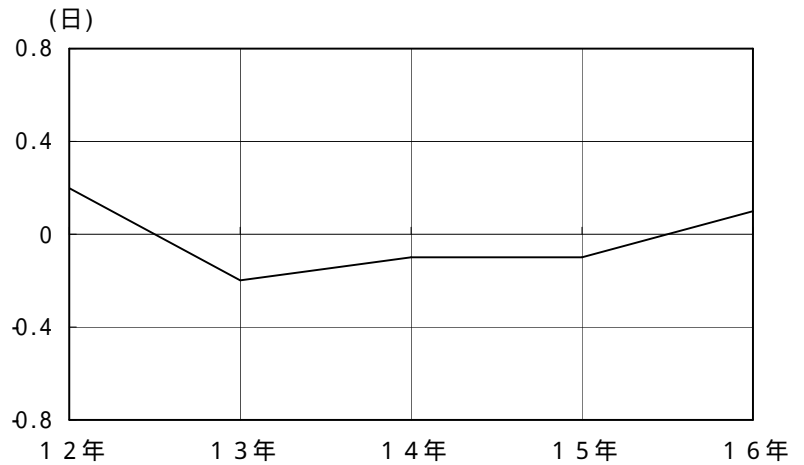
平成16年における調査産業計の出勤日数は19.1日で、前年に比べ0.1日の増加となった。

産業別にみると建設業が21.1日でもっとも多く、次いで不動産業が20.2日、運輸・通信業が20.1日と続いている。

また、対前年差で見ると、減少したのは不動産業が0.7日と最も多く、増加したのは製造業が0.3日ともっとも多かった。

(表5)

図9 出勤日数の前年差の推移(規模5人以上の事業所)



### (2) 規模30人以上の事業所

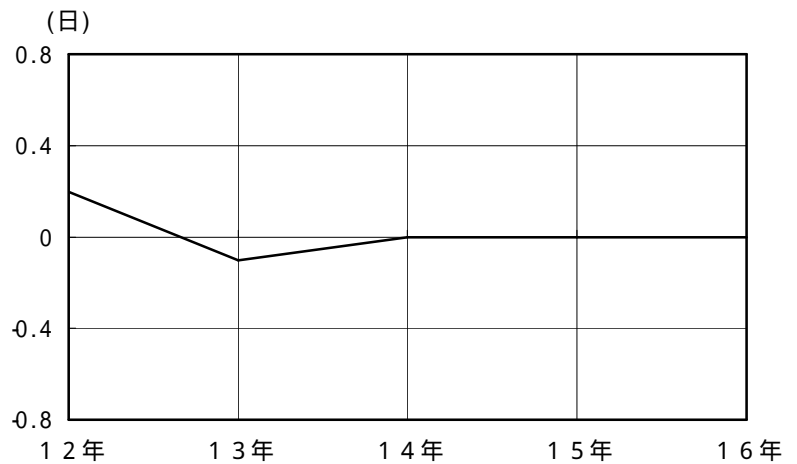
平成16年における調査産業計の出勤日数は19.1日で前年と同水準となった。

産業別にみると建設業が20.3日ともっとも多く、次いで運輸・通信業が19.9日と続いている。

また、対前年差で見ると、減少したのは不動産業が1.2日ともっとも多く、増加したのは製造業が0.4日ともっとも多かった。

(表6)

図10 出勤日数の前年差の推移(規模30人以上の事業所)





## 5 雇用の動き

### (1) 規模 5 人以上の事業所

#### 常用労働者

平成 16 年における調査産業計の常用労働者数は 1,577,777 人であった。平成 12 年を 100 とした指数は 105.6 で、前年比 1.8% の増加となった。

また、産業別に対前年比をみると、減少したのは電気・ガス・熱供給・水道業が 4.9% と最も大きく、次いで製造業が 4.2% と続いた。

増加したのは運輸・通信業の 6.4% とサービス業の 5.4% であった。

(表 7)

#### 労働異動率

調査産業計の常用労働者の動きを労働異動率で見ると、入職率は 2.33% で前年に比べ 0.08 ポイント上回った。また、離職率は 2.26% で前年に比べ 0.10 ポイント下回った。

#### 常用労働者の構成

常用労働者の産業別構成をみると、サービス業が 585,573 人 (37.1%) を占めており、次いで卸売・小売業、飲食店 415,156 人 (26.3%)、製造業 246,236 人 (15.6%) の順となっている。

図 11 常用労働者数の前年比の推移

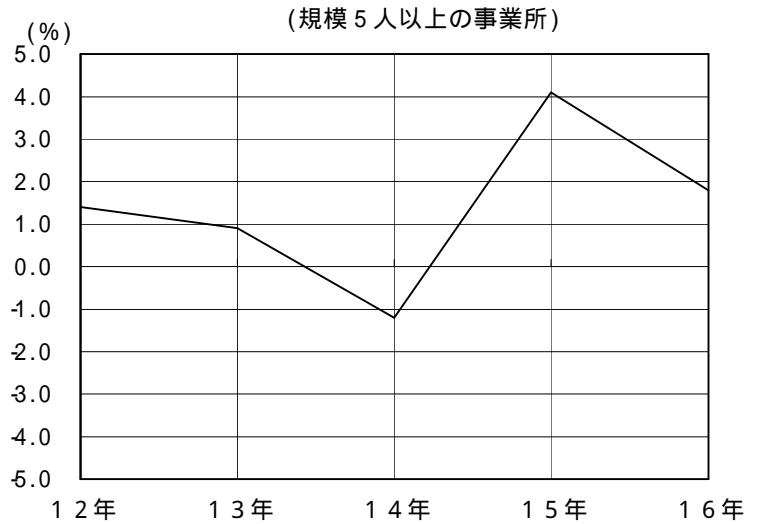
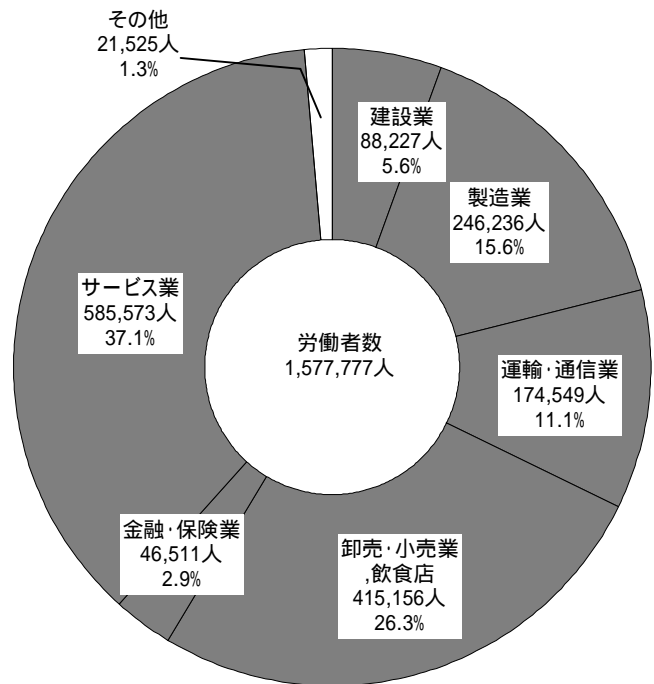


図 12 常用労働者の構成 (規模 5 人以上の事業所)



## パートタイム労働者

常用労働者に占めるパートタイム労働者の比率は、調査産業計で33.4%であった。これを産業別にみると、卸売・小売業、飲食店が62.4%と最も高く、次いでサービス業の29.3%であった。（表7）

表7 産業別常用労働者数（規模5人以上の事業所）

| 区 分           | 常 用 労 働 者 数 |            |             |      |
|---------------|-------------|------------|-------------|------|
|               |             |            | うちパートタイム労働者 |      |
|               | 人 数         | 対前年<br>増減率 | 人 数         | 比 率  |
|               | 人           | %          | 人           | %    |
| 調査産業計         | 1,577,777   | 1.8        | 526,561     | 33.4 |
| 建設業           | 88,227      | 1.9        | 4,035       | 4.6  |
| 製造業           | 246,236     | -4.2       | 41,619      | 16.9 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 7,743       | -4.9       | 94          | 1.2  |
| 運輸・通信業        | 174,549     | 6.4        | 37,971      | 21.8 |
| 卸売・小売業 , 飲食店  | 415,156     | -0.3       | 258,929     | 62.4 |
| 金融・保険業        | 46,511      | -1.5       | 9,083       | 19.5 |
| 不動産業          | 13,168      | -0.2       | 3,517       | 26.7 |
| サービス業         | 585,573     | 5.4        | 171,308     | 29.3 |

## (2) 規模30人以上の事業所

### 常用労働者

平成16年における調査産業計の常用労働者数は952,724人であった。平成12年を100とした指数は107.7で、前年比2.8%の増加となった。

また、産業別に対前年比をみると、減少したのは電気・ガス・熱供給・水道業が7.3%と最も大きく、次いで製造業で5.0%の順であった。

また、増加したのは不動産業が9.5%と最も大きく、次いで運輸・通信業が8.4%であった。

(表8)

### 労働異動率

調査産業計の常用労働者の動きを労働異動率で見ると、入職率は2.09%で前年と同水準であった。また、離職率は2.04%で0.06ポイント下回った。

### 常用労働者の構成

常用労働者の産業別構成をみると、サービス業が391,257人(41.1%)を占めており、次いで製造業が187,997人(19.7%)、卸・小売業・飲食店が182,384人(19.1%)の順となっている。

図13 常用労働者数の前年比の推移

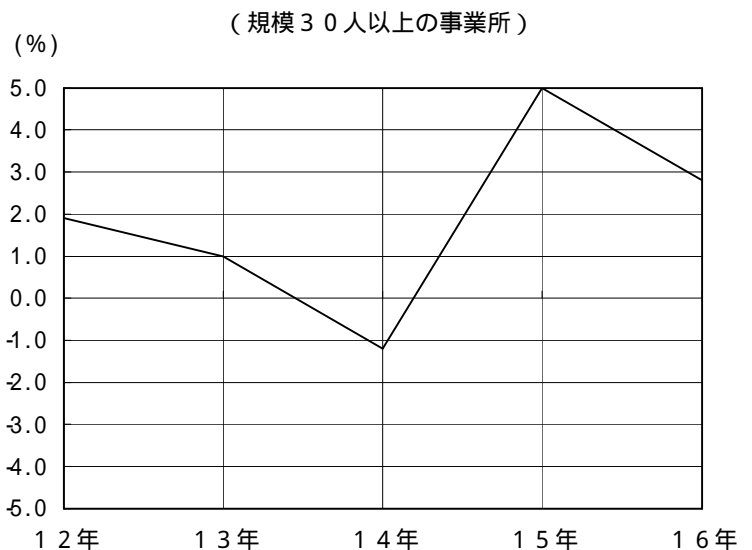
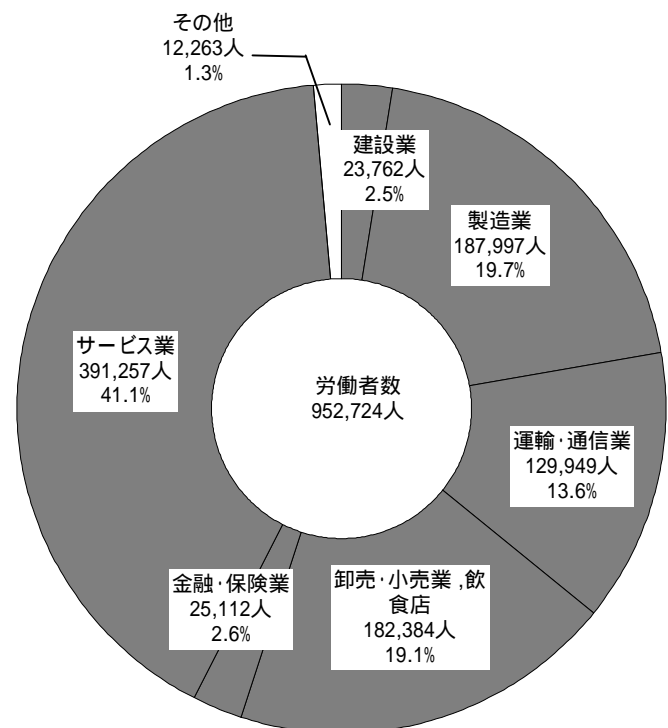


図14 常用労働者の構成 (規模30人以上の事業所)



## パートタイム労働者

常用労働者に占めるパートタイム労働者の比率は、調査産業計で 30.6%であった。

これを産業別にみると、卸売・小売業、飲食店が 66.2%と最も高く、次いで不動産業の 53.3%であった。 (表 8)

表 8 産業別常用労働者数 (規模 30 人以上の事業所)

| 区 分           | 常 用 労 働 者 数 |            |             |      |
|---------------|-------------|------------|-------------|------|
|               |             |            | うちパートタイム労働者 |      |
|               | 人 数         | 対前年<br>増減率 | 人 数         | 比 率  |
|               | 人           | %          | 人           | %    |
| 調査産業計         | 952,724     | 2.8        | 291,825     | 30.6 |
| 建設業           | 23,762      | -4.1       | 303         | 1.3  |
| 製造業           | 187,997     | -5.0       | 27,390      | 14.6 |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 5,862       | -7.3       | 69          | 1.2  |
| 運輸・通信業        | 129,949     | 8.4        | 29,783      | 22.9 |
| 卸売・小売業 , 飲食店  | 182,384     | 0.1        | 120,662     | 66.2 |
| 金融・保険業        | 25,112      | 1.2        | 4,528       | 18.0 |
| 不動産業          | 6,038       | 9.5        | 3,219       | 53.3 |
| サービス業         | 391,257     | 7.1        | 105,869     | 27.1 |